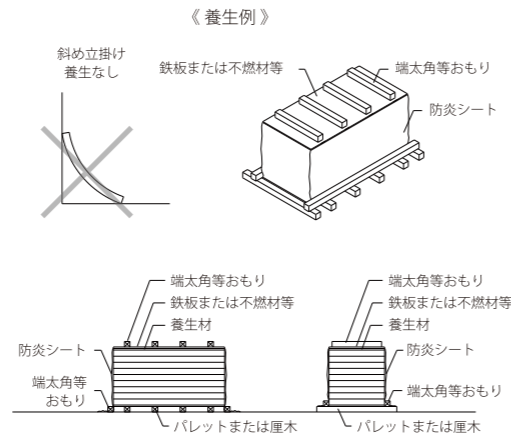


スタイロフォーム™の保管および取扱い(設計施工)上の注意

- スタイロフォーム™**は、燃焼遅延剤を添加して、微小火源では着火しにくくしてありますが、燃える性質があります。保管、施工、特に溶接溶断に当たっては火気に十分ご注意ください。ストックヤードは工程等を考慮して火の気のない適切な場所に設けてください。
特に**スタイロフォーム™**付近で鉄筋の圧接やコンクリート止めプレートの切断又は、セパレーターの溶接等で発生した火花によって**スタイロフォーム™**が溶融・着火の恐れがあるため、不燃材の鉄板や不燃シートなどで養生して火気に触れないようにしてください。
- スタイロフォーム™**は、発泡剤として可燃性ガスを含有しており、この可燃性ガスは保管中、施工中、施工後の環境下で緩やかに放出されます。この可燃性ガスが滞留すると、製品そのものが火気に触れなくても、当該滞留ガスが火気に触れることで、火災や爆発が発生する可能性があります。そのため、**保管および取扱いにおいては、密閉空間を避け、また、施工中も施工後も、可燃性ガスが滞留しないよう通気や換気を行い、または、滞留ガスが火気に触れない設計施工方法にしてください(施工後の使用環境にも留意してください)。**
密閉空間に製品を施工する場合には、密閉空間に通ずる通気管や点検口等を設けないようにするか、設ける場合には通気管や点検口等の付近に火気を近づけることがないように十分注意してください。
- スタイロフォーム™**は、酸、アルカリに対しては安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択及び木造住宅での防蟻・防蟻薬剤の選定及び使用方法については、事前にそれぞれのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分に換気し、火気を使用しないでください。
- 直射日光及び熱や雨露を避けられる場所、湿気や水分を避けられる場所、風通しの良い場所を選び保管してください。直射日光の紫外線により**スタイロフォーム™**は紫外線劣化を受けます。
- スタイロフォーム™**の使用温度は80℃以下です。80℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用ならびに高温になる場所での保管はさけてください。
- スタイロフォーム™**は、軽量で取扱いが容易な反面、風にあおられやすいので、強風下での作業は行わないでください。また、保管に当たっては端太角等おもりで飛散防止処置をしてください。
- 直接地面に接しないようパレット又は木材等を敷き平積みしてください。斜めに立て掛けると反り等のクセがつかうので留意してください。
- スタイロフォーム™**は、局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。



その他の注意事項

- 1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらずに流水で洗浄してください。
 - 2) 熱線スライス等の煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分に行ってください。
 - 3) 廃棄の際には、法令に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
 - 4) 鳥・鼠・昆虫等によって損害を受けることがあります。栄養源や餌にはなりません。
- *カタログの内容、製品の物性や規格は予告なしに変更されることがあります。

DUPONT デュポン・スタイロ株式会社

本社/〒100-6111 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
お問い合わせ(全般)<https://www.dupontstyro.co.jp/inquiry.php>



<https://www.dupontstyro.co.jp/>

わかりやすい技術情報や最先端の研究成果を紹介!

デュポン™、デュポンオーバルマーク、並びに™、SM、及び®表示のあるすべての商標は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

スタイロフォーム™
二次加工品

「スタイロパネル™」シリーズ

スタイロパネル™は、当社協力会社にて製造・販売されております。



デュポン・スタイロ株式会社

さまざまな建築工法に合わせた スタイロパネル™ シリーズ

スタイロパネル™ V 内装一般

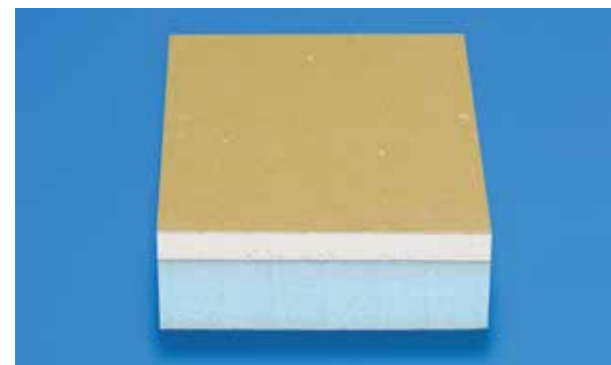


スタイロフォーム™とベニヤの複合板。軽量で施工が容易なため、集合住宅の居室、押入れ等、内壁一般の幅広い用途に使用できます。

表面材	厚さ (mm)	標準サイズ (mm) 910×1820
ベニヤ	2.5	○
	3.0	○
	4.0	○
	5.5	○
	9.0	○
	12.0	○

※プリント合板もございます。長尺品は別途お問い合わせください。

スタイロパネル™ P 内装一般



スタイロフォーム™とプラスターボードの複合板。集合住宅の内壁はもちろん、その質感と厚さのある特長から、商業ビルへの使用に最適です。

表面材	厚さ (mm)	標準サイズ (mm) 910×1820
プラスターボード	9.5	○
	12.5	○

※耐水タイプもございます。長尺品は別途お問い合わせください。

スタイロパネル™ K 内装一般



スタイロフォーム™とけい酸カルシウム板を組み合わせた複合板。一般住宅のキッチン、水廻りから、工場の内壁、商業ビル等、幅広い用途に使用できます。

表面材	厚さ (mm)	標準サイズ (mm) 910×1820
けい酸 カルシウム板	6.0	○
	8.0	○

※化粧けい酸カルシウム板もございます。長尺品は別途お問い合わせください。

※スタイロパネル™は受注生産です。スタイロパネル™の総厚は、表面材の厚さに各種スタイロフォーム™の規格厚さを加えた数値となります。
※スタイロパネル™は、当社協力会社にて製造・販売されております。

スタイロフォーム™の物性表

ノンフロン グリーン購入法適合 4VOC基準適合
(一社)日本建材・住宅設備産業協会の登録商標

JIS規格・種類		JIS A 9521「建築用断熱材」・押出法ポリスチレンフォーム断熱材					試験法
製品名		スタイロフォーム™IB	スタイロフォーム™B2	スタイロエース™-II	スタイロフォーム™EX	スタイロフォーム™FG	
JIS製品記号		XPS1bC (スキン層なし)	XPS2bA (スキン層なし)	XPS3bA (スキン層なし)	XPS3bC (スキン層なし)	XPS3bD (スキン層なし)	
密度	kg/m³	20以上	25以上	25以上	25以上	25以上	JIS A 9521
熱伝導率	W/(m·K)	0.036以下	0.034以下	0.028以下	0.024以下	0.022以下	JIS A 9521
透湿係数 <small>(厚さ25mmの場合)</small>	ng/(m²·s·Pa)	145以下	145以下	145以下	145以下	145以下	JIS A 9521
圧縮強さ	N/cm²	16以上	18以上	20以上	20以上	20以上	JIS A 9521
曲げ強さ	N/cm²	20以上	20以上	25以上	25以上	25以上	JIS A 9521
燃焼性	—	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない					JIS A 9521
吸水量	g/100cm²	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	JIS A 9521
ホルムアルデヒド放散区分		F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	JIS A 9521
加熱変形温度	°C	80	80	80	80	80	自社試験法
線膨張率	/°C	7×10 ⁻⁵	7×10 ⁻⁵	7×10 ⁻⁵	7×10 ⁻⁵	7×10 ⁻⁵	ASTM D 696
比熱	kJ/(kg·K)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	ASTM C 351
酸素指数	—	26以上	26以上	26以上	26以上	26以上	JIS K 7201

- 加熱変形温度は短時間における加熱状態を想定した試験です。高温での使用に関しては弊社までお問い合わせください。
- 酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取扱いにより指定可燃物となります。

参考：「公共住宅建設工事共通仕様書」における、S1工法に用いる断熱材は特記がなければ、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA又は押出法ポリスチレンフォーム保温材保温板3種bAとされています。

スタイロフォーム™の標準サイズ

単位 (mm)

	スタイロフォーム™IB	スタイロフォーム™B2	スタイロエース™-II	スタイロフォーム™EX	スタイロフォーム™FG
厚さ	20・25・30・35・40・50	25・30・40・50	20・25・30・35・40・45・50	30・45・50	40・50
幅	910	910	910	910	910
長さ	1820	1820	1820	1820	1820

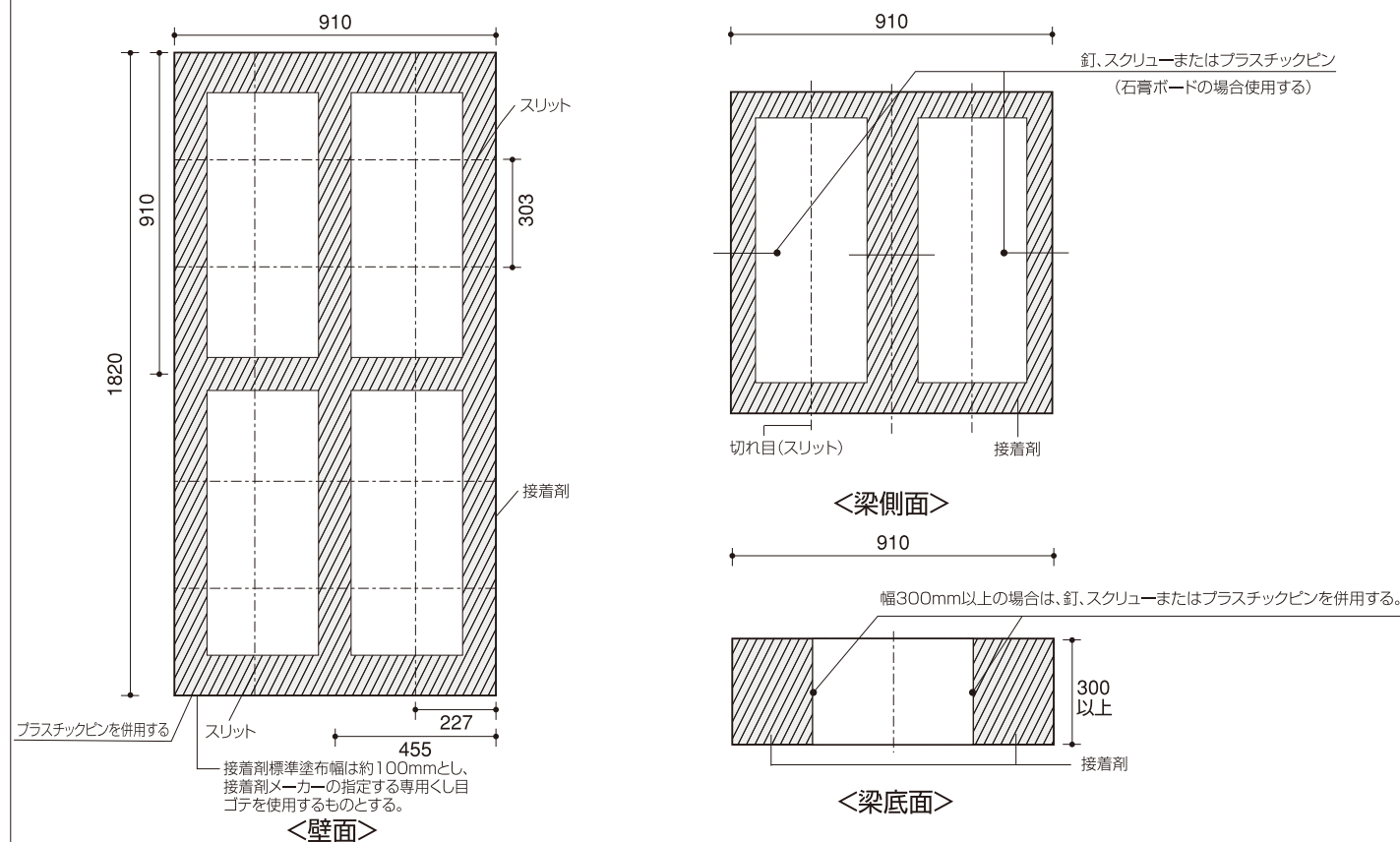
※一部の銘柄については、販売地域が限定されます。また、上記以外のサイズもございますのでお問い合わせください。

コンクリート下地に、接着剤を使用して直貼りする最も一般的な工法で、防露工事と内装下地工事を同時に行うことができます。

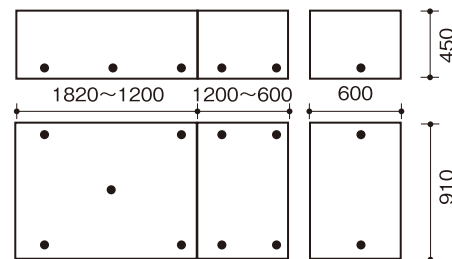
- 貼り込みは、あらかじめ割付図を用意しておくことと便利です。目地には隙間があかないように、丁寧に圧着してください。
- 不陸がある場合は、不陸調整をしてください。(長さ2mに対して2mm未満の凹凸)
- 圧着後、接着剤塗布部分に当て木をして木づちで叩いてください。

直貼り施工法：押出法ポリスチレンフォーム保温板裏打ちパネル直貼り工法施工要領書(全国S1協議会連合会、接着工法推進協議会)より

■ 接着剤の塗布およびスリット位置 (標準塗布量500g/m²、単位mm)



・プラスチックピンの本数は右図による。

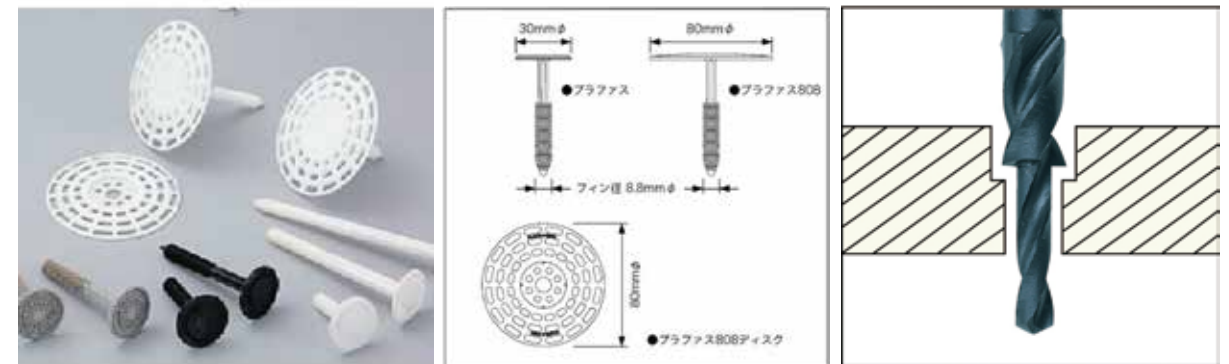


■ プラスチックピンの施工要領(参考)

プラスチックピンの躯体への打込み長さは20~25mmとし、ピン頭は径15~30mm程度とする。プラスチックピンはハンマードリルで孔をあけて打込む。打込むさいには垂直になるよう注意する。

■ プラスチックピン(参考)

商品名：プラファス(株式会社タイルメント)



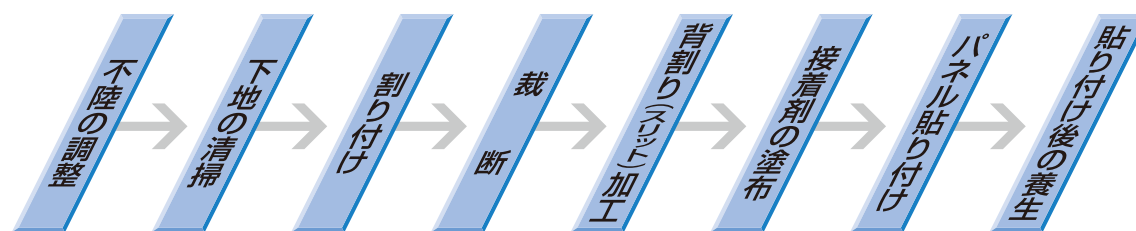
※プラスチックピンの詳細はプラスチックピンメーカーにお問い合わせください。

■ 推奨接着剤

接着剤の種類	製品名(S1工法専用接着剤)	製造会社
一液・無溶剤型(注) 変成シリコーン樹脂系接着剤	ボンド KMP10 タイルメント MS-850 セメダイン PM525	コニシ(株) (株)タイルメント セメダイン(株)

(注) 変成シリコーン樹脂系を主成分とし、有機溶剤中毒予防規則に定める有機溶剤を5%以上含有しないもので、消防法上における危険物に該当しないものであること。

直貼り施工手順



⚠ 面材を貼り合わせたパネルを天井に施工する場合には、脱落防止留め付け部材を併用してください。【商品名 プラファス (株)タイルメント】